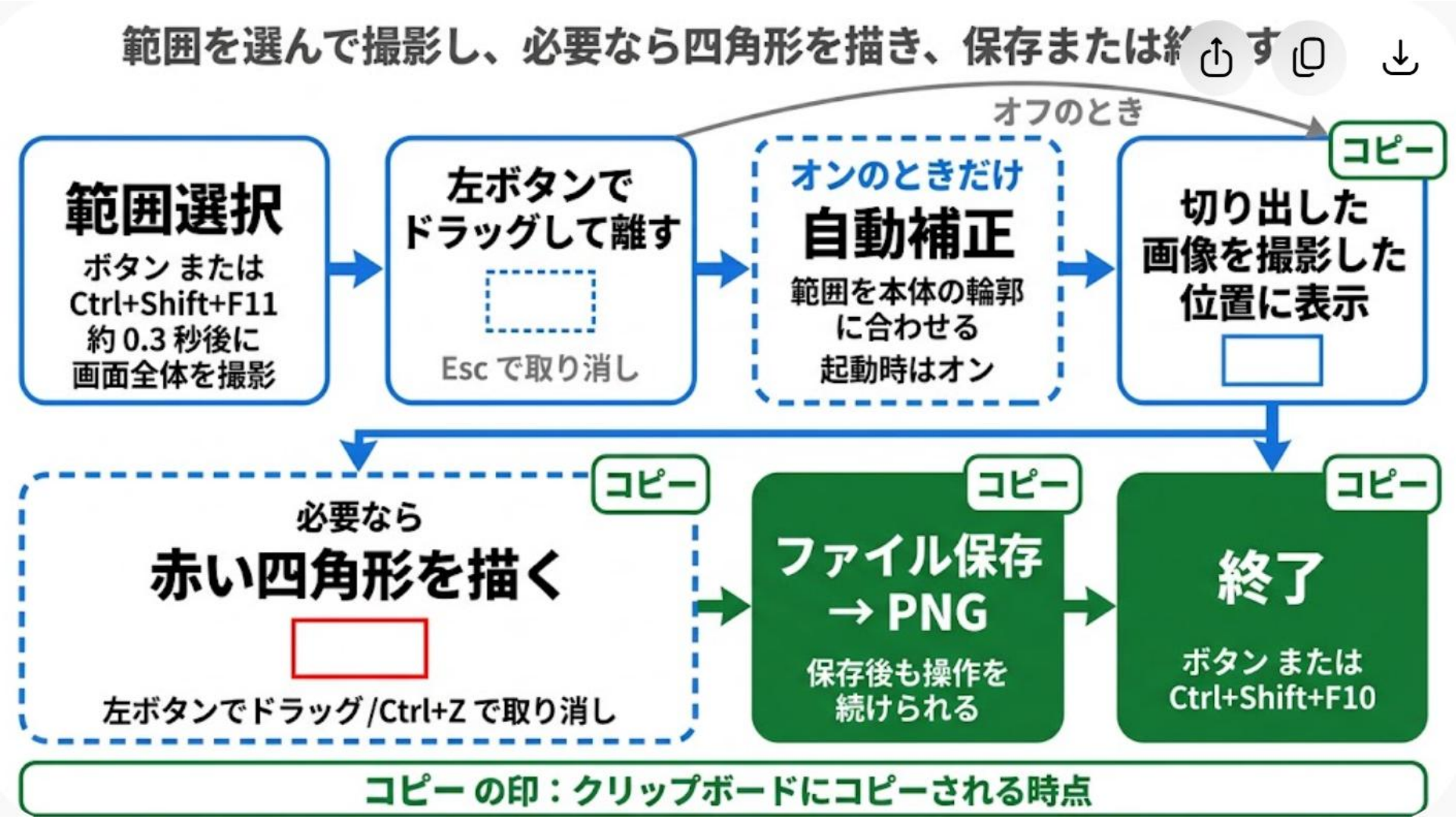
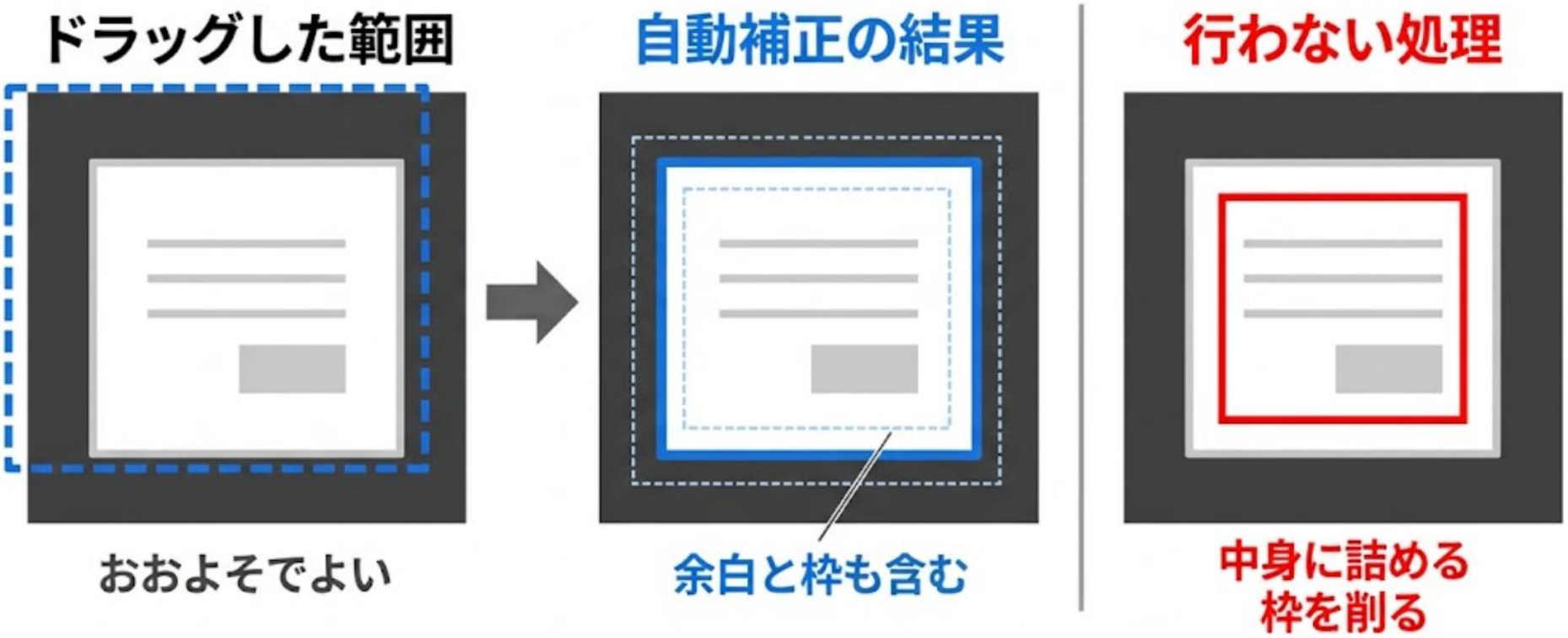
範囲スクリーンショット、使い方の流れ



資料中の図などは Google Nano Banana 2 を用いて作成

自動補正がすること

本体 (ウィンドウやスライドなどの四角形) をおおよそ囲めば、
範囲を本体の輪郭に合わせる

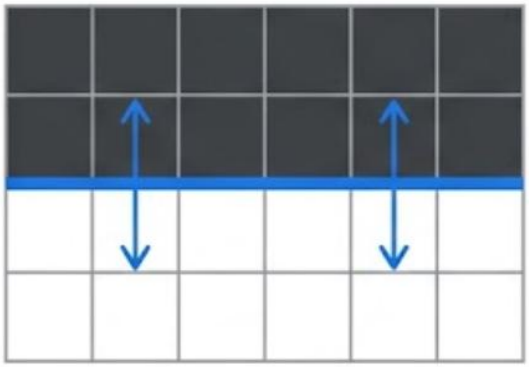


各辺の移動量は操作パネルに表示される（＋は拡大、－は縮小、単位は px）

輪郭の候補の判定

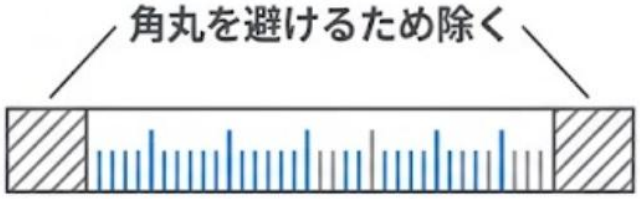
隣り合う線の色が、辺のほとんどで変わる位置を輪郭の候補にする

① 隣り合う画素を比べる ➡ ② 辺の長さに対する割合 ➡ ③ にじんだ輪郭



R・G・B のいずれかの
差が 24 を超えたら
『色が変わった』

各色の値は 0 ～255

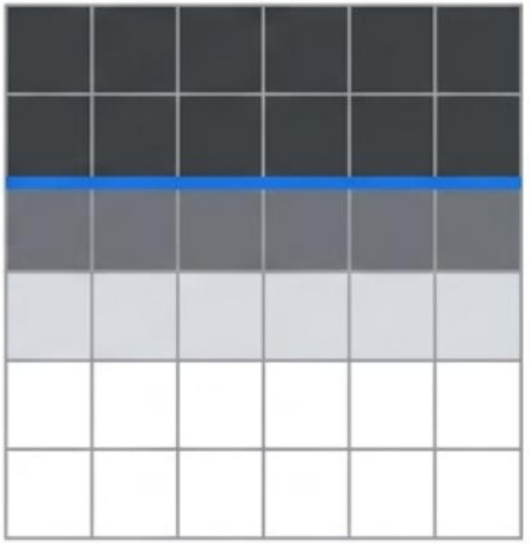


色が変わった割合が
基準以上 → 候補

1 回目：
基準 50%

→

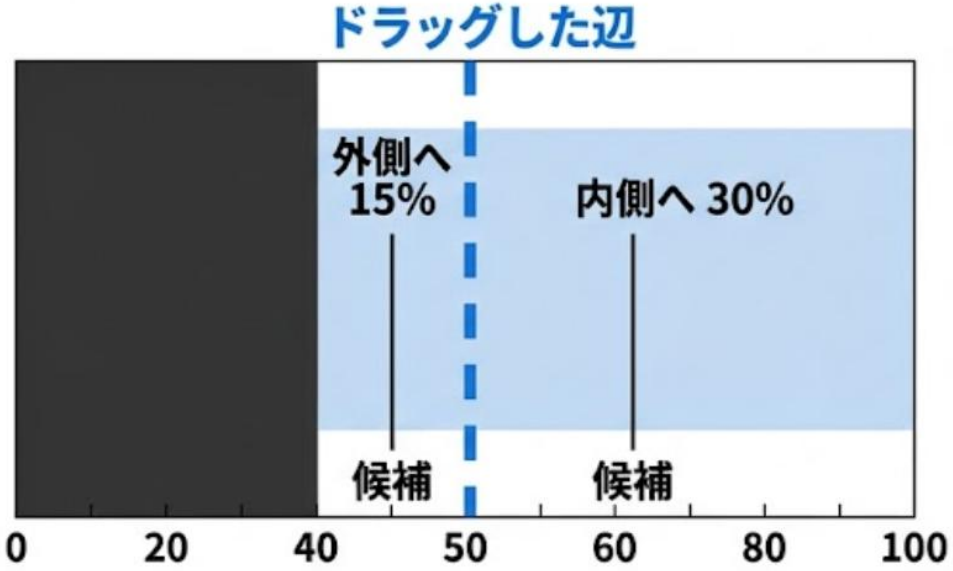
範囲が変わったら
基準 85% で探し直す
（最大 4 回）



いちばん外側までを
本体に含める

探す範囲と候補の選び方

ドラッグした辺の近くで候補を探し、条件に合う組み合わせを選ぶ



左右の辺は範囲の幅、
上下の辺は範囲の高さに対する割合 (最低 24 px)

探す範囲にディスプレイの端があれば、端も候補

輪郭を検出できなかった辺は、ドラッグした位置のまま

候補が複数あるとき優先する条件

1. 4 辺の外側が共通の背景 (ほぼ同じ色)
2. ドラッグした位置に近い
3. 縮めるより広げる方向

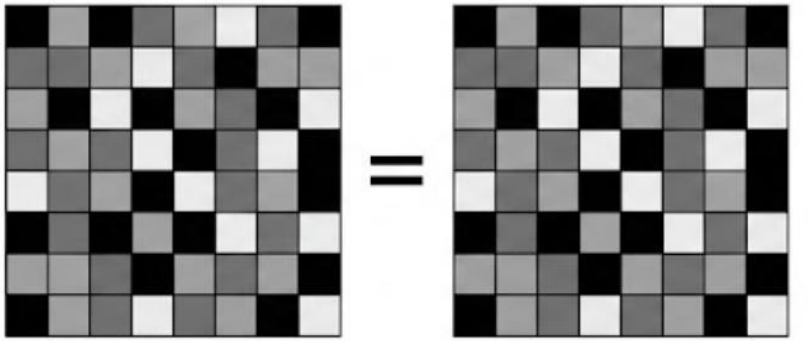
補正がずれやすい場合

- 本体の端と外側の色の差が小さい
- 本体の端が探す範囲の外にある
- 本体の中に辺全体にわたる線がある

画質と出力

画面の画素の値を変えずに、PNG ファイルとクリップボードへ出力する

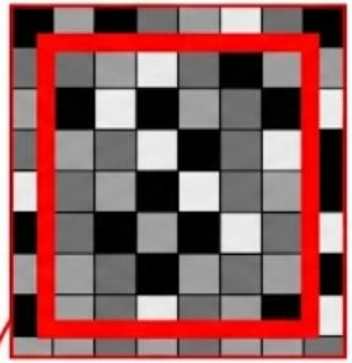
~~拡大・縮小~~　~~減色~~　~~色の変換~~　**どれもしない**



画面の画素　＝　切り出した画像の画素

値が完全に一致

表示スケールに関係なく、
ディスプレイの実際の画素数で読み取る



太さ 6 px・ぼかしなし

変わるのは赤い線の
画素だけ

ファイル保存
→ PNG
24 bit RGB・可逆圧縮

クリップボード
PNG 形式と
DIB 形式 (24 bit)

マウスポインターは写らない

表示の時点でぼやけている
文字は、ぼやけたまま

HDR が有効だと白っぽくなることがある
→ 撮影の間だけオフにする